49年3月定例議会
一般行政に対する質問
〔旨要〕

三月十一日から開かれた、三月定例町議会は会期十二日間で会議が行われ、六日目の一般行政に対する質問には五名の議員が立ち、それぞれ町長の施政をただした。

議員 本町においては乳児に対する育児施設がないが乳児院設置の考えはないか、共働きの人はたいへん困っているが、設置の考えがあるとすれば、その目標をお聞かせ願いたい。

答弁 児童福祉法第七条で、乳児院を設置する場合、医師、職員、看護婦等を置かなければならず、県内では、新潟のガンセンター内と長岡に一ケ所、計二ケ所、育児センターがあるだけで、従って現在のところ設置は考えてないが、寺地保育所が完成した後、検討もしてみたい。

議員 現在板井保育所は部落保育所であり、しかも公民館を併用しており、また、木場保育所について、移転整備の話も聞いていると同時に、板井、木場保育所を合併して施設の充実を計ると聞いているが本当か、これに対して町長のお考えをお聞かせ願いたい。

答弁 木場、板井保育所の統合問題の意見について賛成しているがこれを具体的検討するのは五十年以降になるものと考えられる。

高速道　土砂の流出、ふき込み　事故に万全を

議員 高速道路の工事着工により用排水路や田んぼに、風雨などで土砂が流れ込んでいるが、その管理と対策について、町当局は強く公団に進言して頂きたい同時に現在までどういう指示をしてあるか。

答弁 設計協議の段階において部落役員、代表者、土地改良区等から確認を願った上で工事を施行しており、また現在の機能を失することのないよう公団に強くいってある。また現地に出向いて協議もしており、風の為、砂が飛んで春耕に支障を期たしているということは公団に強く進言しており今後は吹きつけ等を行ない砂がとばないよう充分なる処置を講じたい。

議員 経済危機と今後の見通しについて、本町だけの問題として伺いたいが、戦後最大の国難を克服しようとしている姿勢は伺えるが資材の大巾な高騰により、建設事業に差しつかえはないか、また当初予想した事業に対し補正予算で財源が確保できるか。

答弁 石油、電力の削減により諸物価は軒並み大巾上昇をしめしている関係から、一〇～二〇％の単価増をみて予算組みを行なったもので、内部調整は可能かどうか、また発注後の物価上昇分については スライド制にと県の意向もあるが限られた財源内であるので、慎重かつ適正に作業を進めたい、またはっきりと断言はできないが、年度中には安定するのではないかと、思われる。

答弁 財政問題については、国県において は緊縮財政を保持しており、交付税等の確定は九月になればだいたい見通しがつくと思う。しかし現段階ではあまり大巾な延びは期待できない。

議員 石油については一㌔約九千円近い大巾値上りと電力料金も軒並み値上げ申請をしているが、本町の商工業者の経営はどんなか、役場はこれらにどのような指導をしているか。

答弁 主にこれらは製造業者が対象になると思うが、本町において は石油を源材料としている業者は少ないので心配はない。また小売商店については逆に年末から増収している。一部困っている業者もあるように聞いているがこれらについては、産業育成資金等を活用して頂くよう商工会に協力を依頼している。

介入できない資材の値上げ

議員 農業資材の大巾な値上りにより、農機具、ビニール、肥料等予想もつかない値上りに春耕間近い農民は不安を感じているが、この物価高に対処する前後策と指導はどのようなことを考えているのか。

答弁 この問題については非常に頭をいためているものであり、新聞等によると二十一社が独専禁止法違反で公正取引き委員会が調査に入ったことが報じられているが資材がどの程度確保されているか申し上げますと、肥料については不足している上に四〇％値上りしており、二月～六月までの九〇％確保はしている。農薬は三〇％値上りし一月～六月まで九〇％確保のメドはついている。また経済連では必要料は確保している。価格の動向が苦しい。ビニールは三〇～四〇％値上りしており七〇％の需要量を確保している。燃料は五〇％値上りしており、前年度使用料の一二〇％は確保したい。農業用資材機械等は三〇～四〇％の大巾値上りしておるが経済連では出血しても対応してゆく考えでいる。この値上り関係について行政が介入できず、国の行政指導に基づいて忠実に履行するとともに、農業団体と連携を密にして、内容が非常にむずかしい問題であるがその都度状況判断をしながら、不安を与えないような考え方で指導を進めていきたい。

議員 消費者への指導、サービスを計るため、物価対策本部等、指導サービスセンターの設置の考えはあるか否や。

答弁 国民生活緊急安定措置法によると各都道府県知事に委任されており、市町村においては義務づけはない。県内における設置数は市部で十四、町村部で六町村設置されており、本町においては郡内の状況を重視するとともに県の指導を得て進めていきたい。

公衆便所の設置を

議員 露店市場開設日には、多数の住民が市場に出るため、環境衛生上、公衆便所の設置が必要と思われるが町長の考えはどうか、また市場の手数料はどのように使用されているか。

答弁 以前二ケ所あったが管理者不在の為、閉鎖された。栄町住民から環境衛生上よくないので作ってほしいという要望を私的に耳にしたが、この度の法律改正により以前は人口密度により設置基準があったが、改正により必要と認めた場所に設置しなくればならないというようになった。従って保健衛生課、建設商工課、市場組合と充分検討して進めたい。手数料の用途は昭和四十七年度収支決算をみますと収入七七万八千円、支出三八万五千円となっており、支出の主なものは、市場清掃人賃金と地元町内に迷惑をかけているということでお金を出しており、そのほかは全額大野町に還元している市場の移転問題は、むずかしい問題であり現在の所考えていない。

議員 ガスの供給安定と価格の引き上げ問題であるが、板井地区においては十二月頃ガスの出が非常に悪かった為、ホルダーを設置してはどうか、また、こんなに出が悪ければ今後ガス料金の値上げには応じかねるという声もあるが、町長はこれをどのように受けとめるか。

答弁 板井地区のガスの出が悪かったのは、冬場調査した結果、供給管が腐しょくしていて外部から水が浸透したためだと考えられ、従って本年度には管を入替え供給の安定を計ります。料金値上げは四十九年、五十年度は改定を行なわないが、今後はいろいろの建設事業等により五十一年には赤字財政になると考えられるので町民が納得のいく上で値上げを行ないたい。

議員 保育所用地の確保と交通安全対策について、板井保育所は公民館を併用しているが、保育所建設のため無償で用地を提供するという人があるが役場はこれにおこたえする用意があるかどうか、交通安全対策について、本年はカーブミラーやガードレールをどの程度増設するのか、また中ノ口川沿

次ページへ

前ページから

いの道路は国の事業か県の事業か、このほか本町は〇〇部落に至るというような標識が少なく、自動車運転者はこれが只一のたのみだと思うが、理事者はどのように考えているか。

答弁 前にも述べたとおり、木場板井を一諸にした保育所建設を考えていきたいため、五十年以降にならないと具体的な返答はできない。交通安全対策については二三〇万円の予算が計上されており、ガードレールを二四三㍍、カーブミラー十五本、道路区画線を三二〇〇㍍、標識三十本の設置を考えており警察と連絡をとりながら安全対策の推進を進めていきたい。なお、中ノ口川堤防沿いは県の事業である。

議員 第2中学校用地は現在、一部建設業者に借地させているが、今後、あの土地を何に利用するのか、また、何を建設する予定か具体的な計画があったら伺いたい。なお、仮に体育施設（体育館）などを建設すれば、体位の向上、健康の保持また青少年の健全育成にも一役かえると思うが、この地域はまだ、住宅の建設も少なく、目的によっては用地の拡大も必要と考えられるが町長の前向きな考えを伺いたい。

答弁 名称は第2中学用地となっているが、将来性を充分考慮に入れ今後研究してゆきたい。

議員 県は四十九年度、本町の稲作転換目標を二五四㌶として割当てているがこれを消化するための指導は。

答弁 各農業団体等と連係を密にしながら誤解のないよう作業を進め理解を頂いた上で公正に配分できるよう効果的に進めていきたいこれはあくまでも農家の自主的判断に立ってご協力頂く考えは変っていない。転換奨励金は従来どおり十㌃当り三万五千円の国の基本方針に基ずき、各市町村の共済基準収穫量にキログラム当り六十八円を乗じた額となる。従って本町では十㌃当り四万七千円前後となろう。詳細については推進計画段階で説明申し上げる予定におります。

新幹線・高速道の公害問題に対処する姿勢は！

議員 町長の施政方針の演説の中で新幹線、高速道路は公害、騒音をまき散らす招かざる客と表現しているが排気ガス、騒音、振動等はどの程度か、また、これにどう対処する方針か。

答弁 高速道、新幹線ともに五十一年完工をめざし、公団では工事を進めているが、排気ガスは十・九九ＰＰｍ以上あれば県の公安委員会に伝達し、交通量の規制を仰げるようになっている。振動についてはあまり問題にならないと聞いている。新幹線は騒音、振動が心配されるが、公団では山陽新幹線で建設された方法で試験中であり、防音壁を高くするとか、コンクリートの床を張るとか、吸音板を設置するなどあらゆる対策に取り組んでおり、国策であるため高速道、新幹線ともに住民に被害のないよう進めていくのでご了解願いたい。

議員 燕・新潟間の縦貫県道について、市町村道、農道、里道を県道に認定してこれを改良舗装することになっていると思うが、現在の維持管理や改良工事はどうなっているか。

答弁 新潟・燕間の縦貫道路は昭和四十七年度から工事が初まっており、この区間については巻土木事務所、新潟土木事務所の管内で分れているので各市町村が要望するケ所について断片的に工事がなされているのが現状である。本町内は現在まで工事はされておらず、国県等に陳情し、四十九年度から緒立バイパスに着手しようという段階までできているが緒立遺跡が路線内にあるため県も悩んでいるが、これが解決されれば、年内に着工の運びになるものと見込んでいる。そのほか、黒鳥小学校前八〇〇ｍ等強く県にお願いしてあるが、確実な返答は頂いていない。また木場、黒鳥間の道路は農道的なものであり、これが改良されないと、せっかくの広域農道の利用価値も半減するのでこれも強く県へ要望しており、おそらく年次計画的に改良されるのではないか。維持管理問題は県が施行したものについては県が、その他は市町村単位で行なっている。

小規模校に事務職員養護教諭の配置を！

議員 新入学児を持つ父母は多額の出費が必要ですが、カバン、学用品等を共同購入して父母負担の軽減を図ることはできないものか

答弁 各学校で以前から行なっているが、カバン・机・本箱等多額の物については難しい問題があるが、学用品等少額の物は各学校で共同購入している。このほか、要保護、準要保護児童については、スライド制を導入して今後考慮してやって行きたい。

議員 給食材料の値上げにより、給食費の値上げ、給食内容の低下給食回数の削減等が話題になっているが給食事業は教育活動の一環として重要な位置にあり、前述のようなことは絶対さけてほしい。また完全な給食をするためには、町費の補助も必要かと思われるがどのような考えか伺いたい。学校によって給食は雑用が多いためＰＴＡ等が手伝いをしていると聞くが町でパートを雇ってもらいたい。

答弁 給食費は給食以外には使用しておらず、燃料費も全額町費で行なっている。パートの件は各学校全部が行なっているわけでなく学校建築など大事業を控えている関係、将来の問題として考えていきたい。

議員 小規模校における事務職員の配置、学校事務は雑多であり、教師が雑用をしているようだが事務職員を配置願いないものか、また児童の健康管理も先生が忙しいため適切な処置が不足しているので是非、養護教諭を配置願いたい。

答弁 八学級以上の学校には事務職員を配置することになっているが、五十三、五十四年度頃には小規模校にも配置されるそうであり、今後、養護教諭についても強く県へ働きかけたい。

議員 現場教師の多くは、自分の採用している教科書の選択について何の権利も与えられないのを残念に思っている。少くとも各市町村単位で教師や父母をまじえて地域に即した教育をやるべきだと思う。

答弁 以前は各学校で行なっていたものが、町村単位から郡単位と巾が広がっているが、教科書採択委員会が置かれ、各市町村の学校の先生も採択委員に任命されている。

議員 児童、生徒や一般社会人の健康管理や体位の保持のため、とりあえず学校教育の施設、公民館保育所等を開放できないか。

答弁 全学校とも無人化の為、管理が非常に大変で、金、人の問題もあり、中央公民館、地域公民館屋外運動場等は開放してあるので使用してほしい。この問題は今後地域に拡大していくよう考慮していきたい。

大明団地（鳥原）分譲住宅の募集が始まります！

新潟県住宅供給公社では、当町鳥原地内に大明団地を造成中でありますが、五月中旬頃、分譲住宅を次の要領で募集いたします。

◎分譲住宅募集戸数……六五戸

●一年半積立（住宅引渡し昭和五〇年一一月頃）四〇戸

●二年積立（住宅引渡し昭和一年四月頃）二五戸

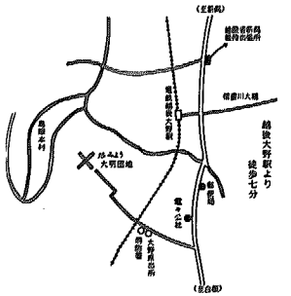
◎受付け及びお問い合せ場所

●役場　総務課企画係

☎（〇二三七）七三〇一番代表

●新潟県住宅供給公社　分譲課

☎（〇二三）六六一〇八四番

※敷地面積　六〇～七〇坪

建物面積　二〇～二〇坪しかし申込者の希望による。